

エコアクション21

# 2024年度環境経営レポート

【活動期間:2024年10月～2025年9月】



発行日:2025年12月4日

田辺電気株式会社

# I. 環境経営方針

## 〔基本理念〕

私たちは、今後予想される地球温暖化や資源の枯渇等を認識し、地球環境を護るため、建築設備（主に電気・情報通信及び計装設備）の設計・施工及び維持管理において省資源・省エネルギー、廃棄物の削減等の環境を考慮した事業活動を展開し、自然環境との調和に向けて地域社会と協調を図っていきます。

## 〔行動指針〕

1. 地球環境保護のため当社における事業活動において、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
  - ①二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量の削減
    - イ) 電力使用量の削減
    - ロ) 化石燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減
  - ②廃棄物の有効利用（リサイクル）による廃棄物排出量の削減
  - ③コピー用紙の節約
  - ④水道使用量の削減
2. 環境保全に関わる法規等を遵守し、技術の変化、社会の変化に的確に対応します。
3. 環境配慮型製品（エコキュート、省エネ型機器、LED等）をお客様へ推奨・提案します。
4. 地域社会において実施される環境保全活動等に対して積極的に参画し、地域社会と協調して地球環境を護る活動に全社員で行動します。
5. 若手技術者の採用と育成に努める。
6. 環境経営レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。
7. 環境経営方針は全従業員に対し周知徹底を図り、あわせて継続的な改善を誓約いたします。

制定日：2013年10月30日

改定日：2025年12月4日

田辺電気株式会社

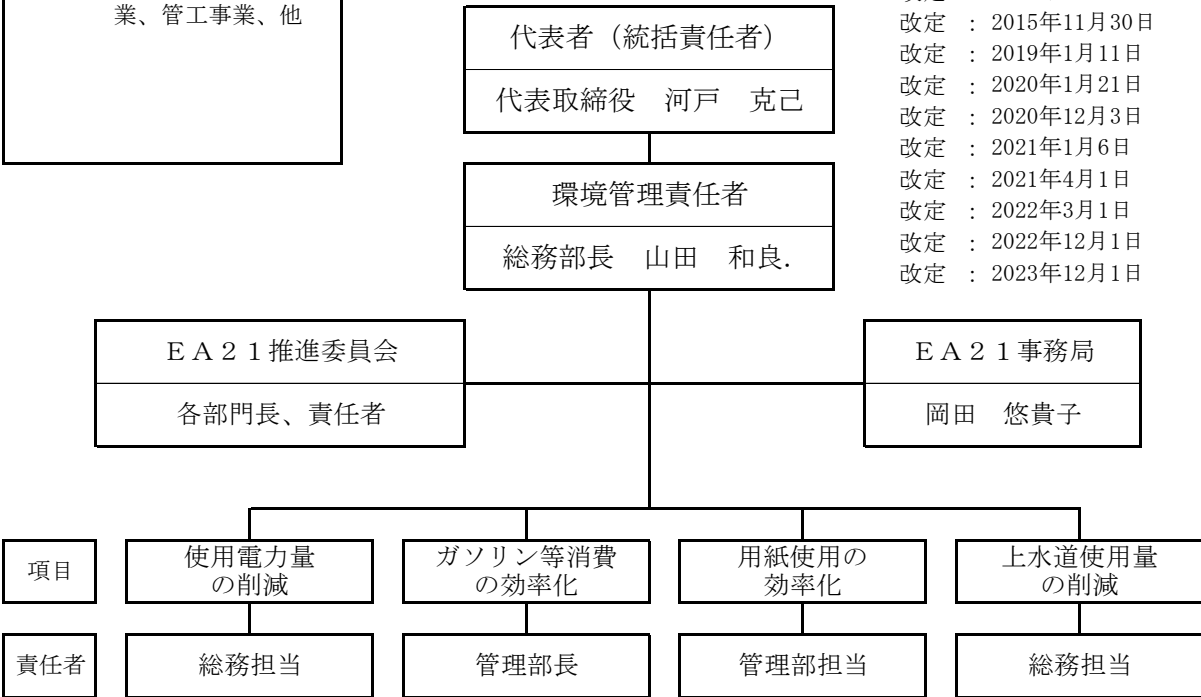
代表取締役 河戸 克己



### Ⅲ. E A 2 1 実施体制表

認証・登録の適用範囲
朝来市和田山町寺谷724-6
田辺電気株式会社
活動：電気工事業、土木工事業、管工事業、他

制定：2012年10月20日  
 改定：2013年10月15日  
 改定：2015年11月30日  
 改定：2019年1月11日  
 改定：2020年1月21日  
 改定：2020年12月3日  
 改定：2021年1月6日  
 改定：2021年4月1日  
 改定：2022年3月1日  
 改定：2022年12月1日  
 改定：2023年12月1日



推進員

総務部	*****	*****	*****	*****
管理部	*****	*****	*****	*****
工務部	*****	*****	—	—
営業部	*****	*****	—	—

役割分担	役割・責任・権限
代表者（統括）	全体の統括、環境経営方針の策定、環境取組に対する資金対応、全体の評価と見直し、緊急事態対応手順書の作成と制定 経営の課題とチャンスの整理と明確化
環境管理責任者	環境負荷の現状把握・分析、環境取組項目の策定、環境経営目標及び経営計画の策定、取組状況の評価・指導、全員参加による環境活動への指導・推進、環境活動教育の計画・実施、環境経営レポートの作成と承認、手順書の作成と制定 環境関連に対する外部からの苦情、要望への対応 緊急事態対応手順書に基づく訓練の実施と記録の作成
EA21事務局	環境活動システム運用における事務手続き
責任者	各取組項目の目的達成への取組推進、結果確認と改善活動
推進員	設定された環境活動取組項目に対して、自課内の活動推進を行う。 環境教育実施時の取りまとめ。
社員	定められた活動計画に基づき環境活動を積極的に実践する。

EA21推進委員会	各部門長及び責任者により必要により開催する。
-----------	------------------------

## IV.【環境目標】

### [過去の環境負荷の実績]

☆ 電力二酸化炭素排出係数は関西電力(株)2022年度調整後係数を使用します。(0.434kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

項目		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	
I 二酸化炭素の 排出量削減 (kg-CO <sub>2</sub> )		70,482	70,632	63,621	65,179	64,577	
1) 電力使用量の 削減 (kWh) (0.434kg-CO <sub>2</sub> /kWh)		22,637	23,438	20,001	21,754	21,145	
2) ガソリン使用量 の削減 (L) (2.32kg-CO <sub>2</sub> /L)		21,372	22,220	19,724	20,095	21,132	
3) 軽油使用量 の削減 (L) (2.58kg-CO <sub>2</sub> /L)		5,069	4,274	4,248	3,711	2,471	
II 廃棄物 排出量	1) 一般廃棄物 リサイクル率の向上 (%)	リサイクル率(%)	89.6	97.6	95.1	98.1	99.7
		総排出量(t)	4.223	4.168	4.657	4.108	3.114
		再資源化量(t)	3.783	4.068	4.427	4.028	3.104
	2) 産業廃棄物 リサイクル率の向上 (%)	リサイクル率(%)	99.9	100.0	99.8	99.5	99.8
		総排出量(t)	871.662	992.084	128.506	52.376	24.453
		再資源化量(t)	870.732	991.640	128.266	52.126	24.392
III 総物質投入量の削減 コピー用紙の節約 (購入量削減) (kg)		311	284	176	192	168	
IV 水資源投入量の削減 水道使用量の削減 (m <sup>3</sup> )		213	213	179	149	166	

## V.【中長期目標】

(取組期間:2024年度～2027年度)

項目	単位	2020年度 基準値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値	
I 二酸化炭素の 排出量削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	kg-CO <sub>2</sub>	70,482	67,663	66,958	66,253	65,548	
1) 電力使用量の 削減 (kWh) (0.344kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	Kwh	22,637	21,732	21,505	21,279	21,052	
2) ガソリン使用量 の削減 (L) (2.32166kg-CO <sub>2</sub> /L)	L	21,372	20,517	20,303	20,090	19,876	
3) 軽油使用量 の削減 (L) (2.62434kg-CO <sub>2</sub> /L)	L	5,069	4,866	4,815	4,765	4,714	
II 廃棄物排 出量	1) 一般廃棄物 リサイクル率の向上(%)基 準年度	%	89.6	93.2	94.1	95.0	95.9
	2) 産業廃棄物 リサイクル率の向上(%)基 準年度	%	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0
III 総物質投入量の削減 コピー用紙の節約 (購入量削減)	kg	311	299	295	292	289	
IV 水資源投入量の削減 水道使用量の削減 基準年度(平成29年度)	m <sup>3</sup>	213	204	202	200	198	
V 環境配慮型製品の 推奨・提案 (エコキュート、LED等)	件	83	90	90	90	90	
若手技術者の採用と育成	-	行動目標(後述)					

注1. 中長期目標の基準年度を2020年度とし、二酸化炭素の排出削減に係る目標値を経過年数

×1%として設定する。(2024年度4%、2025年度5%、2026年度6%、2027年度7%)

その他の目標値は記載のとおり

ただし、廃棄物の排出量においた一般廃棄物、産業廃棄物については上記の目標設定とする。

(特に産業廃棄物については受注工事の量、内容について廃棄量が変動するため)

注2. 化学物質の使用はありません。

## VI.【環境活動計画】

[実施部門] ■:主管 □:関連

目標管理項目	具体的取組項目(目標達成方策)	実行責任者	実施状況	実施部門				
				総務	管理	工務	営業	
I. 二酸化炭素排出量の抑制	1) 電力使用量削減	①・昼休みの事務所内消灯の徹底 ・離席箇所部分の消灯(選択操作可能分)	○	■	□	□		
		②冷暖房温度の抑制 ・冷房時 28℃以上 ・暖房時 20℃以下	○	■	□			
		③エレベータ移動の抑制 ・荷物の無いときは階段利用 ・降りる時は階段利用	○	□	□	■		
	2) 化石燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減	①自動車両の効率運用 ・同一現場複数台出動の抑制	小山	○		□	■	□
		②積載重量の削減 ・常時積載材料、工具の見直し		△		□	■	
		③アイドリングストップの励行		○	□	□	■	□
		④タイヤ空気圧のチェック		○	□	□	■	□
	II. 廃棄物排出量	1) 一般廃棄物単純焼却の削減	増田	○	■	□	□	
2) 産業廃棄物リサイクル率の向上		○		■	□	□		
III. 総物質投入量の削減(コピー用紙の節約)	①裏面コピーの活用 ・社内資料、手持資料は裏面コピー活用	村上	○	□	■	□		
	②レスペーパー意識の定着		○	□	■	□		
IV. 水資源投入量の削減	・節水意識の定着(水道蛇口に節水ビラ貼付)	増田	○	■	□	□		
V. 環境配慮型製品の推奨・提案(エコキュート、LED等)	・設計事務所、工務店等を通じて設計反映を行う	村上	○		■	□	□	
若手技術者の採用と育成	・ハローワークとの情報交換、登録加入組合(電業協会、兵庫県電気工事工業組合等)からの受講、受験案内による積極的な参加	山田	○	■				

[実施状況評価] ○:実施できた △:ほぼできた ×:実施できなかった

## VII.【環境活動の取組状況と結果及び今後の方向】

(取組期間:2024年10月～2025年9月)

項目	目標値		実績値 (目標達成率)	取組結果と評価及び今後の方向	評価
I 二酸化炭素の排出量削減	67,663 kg-CO2		64,577kg-CO2 (104.54%)	電力使用量、ガソリン・軽油使用量の結果により目標達成となった。 次年度も達成できるよう努力する	○
1) 電力使用量の削減	21,732 kWh		21,145kWh (102.78%)	本社建物内のLED化が終了したこと。 事務所内エアコンの更新等により節電効果はあった。	○
2) ガソリン使用量の削減	20,517 L		21,132L (97.09%)	当期は前期比で売上金に変動はなかったが 工事内容により目標未達成となった。	×
3) 軽油使用量の削減	4,866 L		2,471L (196.92%)	当期は前期比で売上金に変動はなかったが 工事内容により目標達成となった。	○
II 廃棄物排出量	1) 一般廃棄物リサイクル率の向上	93.20%	99.70% (108.02%)	徹底した選別により達成できた。 引続き徹底した取組を行う。	○
	2) 産業廃棄物リサイクル率の向上	100.00%	99.80% (99.80%)	工事内容によりリサイクル率は変動する。今期は概ね目標達成であった。 今後とも徹底した選別を行う。	△
コピー用紙の節約	299 kg		168 kg (177.98%)	データの保管、申請等のネット利用の移行、裏紙の利用 次年度も継続して達成を図る。	○
水道使用量の削減	204m <sup>3</sup>		166 m <sup>3</sup> (122.89%)	節水の徹底	○
環境配慮型製品の推奨・提案	90件		133 件 (147.78%)	営業体制面からもお客様への直接提案推奨活動には取組めないが 設計事務所、工務店等からの設計依頼時において反映している。	○
VI.若手技術者の採用と育成	行動目標			試験合格(3種電気主任技術者1名 1級 管工事主任技術者甫 1名) 講習(一種電気工事士講習他 6名)	○

[評価] ○：目標達成 △：目標やや未達成(1%未満) ×：目標未達成

## VIII.【環境関連法規】

### 1. 環境関連法規等の取りまとめと順守状況

当社の事業活動に適用される環境関連法規等の順守状況を確認した結果、順守されてきました。

順守評価日 2025.12.4

法規制等の名称	順守すべき要求事項	備 考	順守状況
廃棄物処理法	委託基準：一廃収集業者の許可の確認	1回/年	○
	委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	契約書/許可証につき 1回/年	○
	保管基準：掲示板：60cm×60cm以上表示		○
	マニフェストの期日内返却の確認	B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合30日以内に知事への報告	○
	マニフェストの交付、保管・管理	A、B2、D、E票 保管5年	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	毎年6月まで	○
	処理業者から処理困難の通知をうけた場合	30日以内に知事に「措置内容等報告書」による報告	—
	処理の状況について確認の努力義務		—
	自社による運搬時の表示、書類携行		○
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し	廃棄時 修理時	○
	環境影響の少ない指定製品の使用につとめる		○
	フロン類改修時の委託確認書交付と引取証明書の保存		○
	引取証明書の確認	30日以内に送付されない場合の知事への報告	○
	第1種特定機器		○
	簡易点検(すべて)	1回/3か月以上	
	有資格者による点検 空調機器7.5kw以上	1回/3年以上	
	50kw以上	1回/1年以上	
冷蔵冷凍機器7.5kw以上	1回/1年以上		
点検記録の保管	廃棄まで		
消防法	消火器、火災報知器の定期点検・報告	消火器 2回/年 点検 火災報知器 1回/3年 報告	○

道路交通法	道路使用許可申請書	着工前	○
建設業法	許可の申請	5年毎	○
	変更届出書	変更時	

[順守状況] 順守：○ 一部不順守：△ 不順守：× 実績なし：－

## 2. 法規制違反、訴訟等の有無

・関係機関からの指摘、指導また利害関係者からの訴訟や環境上の苦情等についての事案はありません。

## IX. 【代表者による評価と見直し】

年間の取組結果については、に二酸化炭素の排出量、使用電力、軽油使用量、水道使用量、コピー用紙の節約、一般廃棄物リサイクル率の向上について目標達成する事ができた。

ガソリン使用量について目標未達となった、毎年の使用量の変化は軽油使用量も同様に工事受注量、工事場所、工事種類により変化する為ある程度の増減はあると考えます。

産業廃棄物リサイクル率の向上について目標未達となったが概ね100%に近い率で推移しており受注工事の内容により多少の変化であると考えます。今期は売上高が前年とはほぼ変わらず503百万円で収益は税引前当期純利益57百万円と前期に引き続き好調であった。令和6年度の給料手当(役員報酬を除く)は前年比10.1%増加しております。

経費節減によることが高収益につながったと考えます。

さらに全ての項目において目標値100%達成に向け社員一人一人が認識をもって環境問題に取り組んでいきたいと考えております。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2025年12月4日

田辺電気株式会社

代表取締役 河戸 克巳

